

令和元年度 大阪府立門真西高等学校 第3回学校運営協議会 議事録

《日時》令和2年2月17日(月) 10時～正午

《場所》校長室

《出席者》委員 真野 正道(寝屋川市教育委員 関西外国語大学)
隈元 実(門真市教育委員会社会教育課 課長)
杉井 信夫(門真市立速見小学校 校長)
中内 恵(本校同窓会代表)
松尾 裕子(令和元年度本校PTA 会長)

事務局(学校関係者)

校長 教頭 事務長 首席2名 生徒指導主事 進路指導主事 第3学年主任(首席と兼務)
第2学年主任(首席と兼務) 第1学年主任 新規採用教員1名

- 1 開会 校長挨拶 ・卒業式や入学試験について(コロナウイルスの懸念)
委員紹介
事務局紹介
会長挨拶 ・今後の体調管理について(手洗いや咳エチケットの徹底)
・一年間の振り返りと来年度に向けて

2、平成31年度学校経営計画と評価(案)について 報告

教頭より 第2回 授業アンケート結果の報告

- ・全体としては生徒からの評価は上がっているが、3年生の評価は低い。
- ・特に興味関心や知識技能は学校での目標に達している。

学校教育自己診断(生徒・保護者・教員)分析についての報告

- ・授業規律に関する数値が高い。(メロディーチャイム等の影響)
- ・授業や学校生活について、1年生の意識が低い傾向にある。(生徒と保護者)
- ・教員間の組織としての意識が深化している。・キャリア教育の数値が高い。(生徒一人ひとりに対する指導)
- ・生徒指導関係の数値は比較的低い。(指導の厳格化)→長期的な指導の徹底

校長より 取組内容に対する自己評価について報告(◎○△で評価)

- ・◎ パッケージ研修の活用・授業規律・各種検定・キャリア教育・安全講習会・門西カップ(中学との連携)
連携校との協定・SNSマナー・学校説明会や中学校訪問・特別支援教育や人権職員研修
- ・○ 授業アンケートでの興味関心と知識技能・補習講習・学校紹介就職・在日外国人理解・遅刻減・自転車マナー
生活サポートカード・救急講習会・部活動の加入・生徒の健康と安全・ホームページ更新・ゆかたまつり
- ・△ 外部模試受講者・進路情報の提供・進路説明会の参加・学校行事満足度(ルールの厳格化)・教育相談満足度
生徒向けの災害時の行動把握・学校情報提供の努力・教員の人権尊重の姿勢

3 令和2年度学校経営計画(案)について

- ・めざす学校像及び中期的目標は、今年度と大きな変化はない。2021年度までの目標を挙げている。

確かな学力の育成について

- ・興味関心と知識技能の満足度を2021年度までに80%以上にする。
- ・生徒の授業満足度を2021年度までに70%以上にする。

キャリア教育の推進について

- ・進路指導満足度を80%維持したい。・進学決定率を2021年度までに97%以上にする。
- ・保護者向け進路指導満足度を2021年度までに85%以上にする。・学校紹介就職内定率の維持。

豊かな人間性をはぐくむ生徒指導の充実と安全・安心な学校生活の推進について

- ・欠席数を減少させる。(学校行事等も同様)・部活動の活性化
- ・人権侵害を許さない学校体制(例：SNS)・教育相談体制の充実

学校力の向上について

- ・広報活動の推進(ホームページやメルマガ、保護者との連携)・教員間の情報共有ができる体制の構築

4 協議

(委員) 中期的目標については、学校運営協議会の承認が得られた。

(委員) 自己診断(生徒)新規項目(授業規律とSNS マナー)に関する質問の聞き方が、個人に問う形で生徒全体に確認する聞き方の方が良い。

(委員) 学習環境もエアコンに関する意見が影響している。質問の見直し(施設・設備について)必要。

(事務局) トイレの改装による施設環境の改善を図っており、教室のエアコンのイメージを切り離したい。

(委員) 1年生の自己診断結果等から学校への意識が例年より低いとの分析が出たが、これをどのように活用して、授業改善や生徒指導に繋げるか。

(事務局) 指導に関する課題意識が低いので、授業内容や進路指導・行事等あらゆる場面で意識できる工夫必要。

(委員) パッケージ研修(授業改善)の具体的内容は？

(事務局) 教員間で授業改善チームを組み、授業見学や公開授業を通じた授業の見直しを行う校内研修実施し、共通する項目を教員間で共有(意図的に異なる教科の教員でチームを組む)

(委員) 教科を超えて共有できるものがあつたのは成果だと思う。今後各教科の専門性の改善は検討しているか？
授業アンケートの結果にどのようにつなげるか？

(事務局) アウトプットを重視した授業の実現ではないか。授業公開期間で様々な教員が授業見学に来ていたので、それなりに生徒からの理解も得られたのではないか。

(委員) 小中学校で「タブレット一人一台配布」の教育を受けた生徒が入学してくるが、小中学校の授業も見に行つてはどうか。

(委員) 高校生の早期退職抑止対策である職場見学やインターンシップの現状と今後の見通しは？

(事務局) インターンシップや職場見学を企画している。ハローワーク・近隣の企業からの協力はある。

(委員) 子どもたちの体験の機会が多いことは評価できる。職場体験があればよい。

(事務局) 職場見学数を増やす。あるいは職場見学の中で仕事内容を体験できるような形をとれないか。

(委員) PTA関連の行事をきっかけに、連携(高大)拡大は評価できる。他の目標(キャリア教育等)にも活かせないか検討してほしい。

5 閉式 山領校長より謝辞 ・本日の締めくくりの挨拶。次年度への事務連絡